



気仙沼市観光キャラクター  
「海の子 ホヤぼーや」

# 気仙沼市 社協だより

編集  
発行

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

《公式ホームページ》 <http://kesenuma-shakyo.jp/>

《スマートフォン用QRコード》

スマホをお持ちの方は、こちらからホームページを見ることができます。



本 所 ◆ 気仙沼市東新城二丁目1番地2  
TEL 0226-22-0709 / FAX 0226-22-4467  
E-mail : keshakyo@watch.ocn.ne.jp

唐桑支所 ◆ 気仙沼市唐桑町石浜282番地3(唐桑保健福祉センター「燦さん館」内)  
TEL 0226-31-2051 / FAX 0226-31-2052  
E-mail : karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp

本吉支所 ◆ 気仙沼市本吉町津谷館岡51番地6  
TEL 0226-42-2231 / FAX 0226-42-1241  
E-mail : moto-sha@kind.ocn.ne.jp



## まごころこめて お届けします!

気仙沼市地区赤十字奉仕団四ツ葉会では、独自事業として毎年「ふれあい弁当」を本吉地域の小泉、津谷地区の75歳以上の一人暮らしの方を対象にお届けしており、今年は11月7日(日)に実施しました。

今年は、「あんこ」「きなこ」「ごま」の彩り鮮やかな三色の美味しそうな「手作りぼたもち」のお弁当にメッセージを添えました。

届けられた方々からは、「毎年楽しみにしています。」「おいしいお弁当が本当にありがたいです。」などの声が聞かれました。



# ❖ おめでとうございます ❖

## 社会福祉大会等

### 受賞者紹介

永年にわたって社会福祉に寄与されてきた功績に対し、次の方々へ表彰状並びに感謝状が贈呈されましたので、皆様にご紹介いたします。

#### 令和3年度全国社会福祉大会

開催中止

#### 〔全国社会福祉協議会会長表彰状〕

民生委員・児童委員功労  
島山 泰子様  
社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労

芳賀 勝英様



#### 第90回全国民生委員児童委員大会

令和3年10月26日 於京都市

#### 〔全国民生委員児童委員連合会会長表彰 表彰状〕

永年勤続民生委員・児童委員功労

及川 千恵様  
小山 妙子様  
木田 恵津子様  
島山 恵様  
大和田 とく子様  
小鹿 淑子様  
後藤 淳子様  
鈴木 艶様  
鮫名 理香様  
熊谷 文雄様  
軍司 裕子様  
橋本 眞樹子様  
村上 正子様

#### 第67回宮城県社会福祉大会

令和3年11月11日 於仙台市

#### 〔宮城県知事表彰 褒状〕

社会福祉事業従事者

小野寺 裕子様  
小野寺 淑子様  
熊谷 陽子様  
庄司 朋恵様  
成澤 浩子様  
藤田 京子様

民間社会福祉団体関係者

佐藤 輝子様

#### 〔宮城県社会福祉協議会会長表彰 表彰状〕

社会福祉協議会役職員功労者

高橋 亮太様  
小野 洋美様  
稻荷森 裕子様

社会福祉施設職員功労者

佐藤 尚子様  
千葉 伸彦様  
小山 竜也様  
齊藤 美保様

熊谷 良弘様  
齋藤 和広様  
熊谷 美恵様  
齋藤 里子様  
菊田 宮子様  
梶原 淳子様  
尾形 典子様  
小山 真子様  
熊谷 葉子様

#### 〔宮城県社会福祉協議会会長表彰 感謝状〕

団体

NPO法人 鞆様

#### 〔宮城県民生委員児童委員協議会会長表彰 表彰状〕

永年勤続民生委員・児童委員功労

熊谷 勝信様  
三浦 三枝子様  
小野寺 幸子様  
小野寺 かつ子様





## 鹿折地区ボランティアクラブ

鹿折地区ボランティアクラブでは、福祉施設への奉仕活動や地域でのお茶会の開催などの活動をしています。現在は、鹿折地区全体で進めている登下校時の見守り活動に取り組んでいるほか、鹿折小学校の草取り奉仕を行っている、今年は春と秋の2回行いました。秋の奉仕の際は、児童からの感謝の言葉や手紙をもらい、会員の大きな励みになっています。

会長の藤村さんからは、「現在感染症の流行により、一部の活動を休止しています。本来の活動ができるようになることを願うとともに、「和を大切に」をこころがけ、活動しています。」とのお話をいただきました。



## 「ぱぷりか」(新月リユースの会)

「ぱぷりか」は、令和元年11月から新月中学校の制服をリユースする活動を行っています。これまでに地域の方々から約100着のご協力を頂き、集めた制服は地域のクリーニング店の協力を得てクリーニングをした後、必要な方の元で活用されています。

会長の大和田さんは「地域の子どもたちのために何かできないかと考え始めた活動です。それぞれのご家庭で大切に着られてきた制服なので、新しいご家庭でも大切に引き継がれて欲しいです。」と話されていました。

活動は新月中学校の制服のみを取り扱っており、

現在、ご家庭に眠っている制服があれば是非、協力してほしいとのことです。

### ■ぱぷりか(新月リユースの会)

電話 0226-23-7092 (小山)

電話 0226-55-2041 (菊地)





# はじめよう! ひろげよう! 支え合いの地域づくり

## 気仙沼市生活支援体制整備事業



### 地域のお宝を紹介します!

#### 上地区 「館山二区わんこクラブ」

犬と一緒に散歩することが毎日の日課になっている「わんこクラブ」。何気ない会話の中にもお互いの自然な見守りが行われています。



ある日、仲間の一人が体調を崩し散歩に出て来られなくなりました。心配した仲間達が、お散歩のゴールをその方の家に変更して、ポットに入れたお茶やお惣菜を持ち寄り、



庭の縁台でお茶会をするようになりました。お互いの体調の変化を気遣うなど、助け合いが生まれています。



住み慣れた地域で繋がりを持ち暮らし続けるための助け合い、支え合いが自然に行われています。また今後もお互いを支え合えるようにと勉強する意欲も持ち続けています。

#### 南地区 「南が丘自治会ラジオ体操」

南が丘自治会では、住民の方々から「コロナ禍で外に出歩く機会がめっきり減ってしまった」「運動する機会も減ってしまった」との声があったことから、「フレイル(虚弱状態) 予防講座」を3回コースで開催しました。改めて運動することの必要性や、集まりの中での会話の楽しさを実感し、今回の講座をきっかけに自治会主催のラジオ体操を開催することになりました。



コロナ感染予防対策を徹底しながら、年内は気仙沼公園でのラジオ体操を12月21日までの毎週火曜日に行うこととしています。



フレイル予防講座で学んだことを継続する取り組みが行われています。室内で行われることが多い自治会の行事ですが、コロナ禍でも開催できる集まりの場を模索し、屋外でのラジオ体操を取り入れました。



## 新月地区 ▶ 早稲谷地域「産直所まっちゃん」

新月地区早稲谷地域では、住民有志8名で「産直所まっちゃん」を立ち上げました。



「大切に育てた野菜だが、全部食べきれないし廃棄はもったいない。みんなに食べてもらうことは出来ないか。」というメンバーの想いから何度も話し合いを重ね実現した「みんなの野菜を食べてもらうべし企画」です。直売所の運営を通して、外出する機会が増えたり、お客さんとの交流が社会参加や生きがいにつながっています。

メンバーみんながこの活動を通して「生きがいを持って支え合い助け合って笑顔になろう。」と元気いっぱいです。



新月地区社協主催の住民座談会で学んだフレイル予防について、自ら取り組むほか、パンフレットを配布し、産直所を利用される方々にも関心を持っていただけるよう声掛けをしています。

## ～ 健康づくり・つながりづくり コロナに負けない地域を～

地域支え合い推進員は、地域の皆様へ向けて健康増進とふれあいのある地域を目指して「☆あるいて☆あいさつ☆気分は気仙沼一周！おさんぽすごろく」を作成しました。

ご近所を30分歩いて1マス色を塗ります。出会った人には挨拶をするというものです。

歩く時間など体力に合わせて頂けます。個人や団体に工夫し運動をする習慣を持ちましょう。

すごろくは本会ホームページからもダウンロードできます。

(地域の皆様より)

- ご近所で使用します。ラジオ体操をしたら1マス塗り、散歩をしたら1マス塗るなど運動したら色を塗ることにしました。
- 自粛生活で社会参加する機会が減りました。友達にあげて一緒に取り組もうと思います。一人より二人なら継続できそうです。
- 写真を見ながら、コロナ終息後のミニデイサービスの計画をみんなで考えたいと思います。計画づくりが楽しみです。
- 日頃の生活で歩かないことに気づきました。健康づくりの為にチャレンジしてみます。



■ お問い合わせ 連絡先 気仙沼市社協 (22-0722) ■



## コロナ禍における災害ボランティアを学ぶ 災害ボランティアセンタースタッフ養成講座を開催

10月31日(日)、鹿折公民館において自治会や地区社協、ボランティアなどから約30名の方々にご参加いただき開催しました。

ウェザーハート災害福祉事務所代表の千川原公彦さんを講師に迎え、災害ボランティアセンターの機能と役割、コロナ禍における災害ボランティア活動について学びました。

これまで災害が発生した時には県内外からのボランティアを受け入れて復旧活動を行ってきました。しかし、コロナ禍の今、県外からのボランティアの受け入れは難しく地域の中での助け合いがより大切になっています。

講座では、ニーズ(被災された方の困りごと)が書かれたカードを基に「自分が自治会役員として困りごとの相談を受けた時、どこに相談をするべきか」を考えるワークを行いました。その後、「災害時に協力してくれそうな個人・企業・団体」について考えるワークを行うなど、貴重な機会になりました。

参加された方は「災害時の困りごとについて、実際にどこにお願いすると解決できるか改めて考えさせられました。人と人とのつながりを大切に、災害に備えていきたいです。」と話されていました。



## 災害時に私たちができることは…

### 中学生・高校生ボランティアスクール

11月3日(水・祝)、市内の中学校、高校の生徒の皆さんと先生を含め14名にご参加いただき、ウェザーハート災害福祉事務所代表の千川原公彦さんを講師に開催しました。

内容は、災害ボランティアや災害ボランティアセンターについて、実際に中学・高校生が活躍した事例や防災すごろくを使って災害への備えについて学びました。

参加者からは「まずは積極的にボランティア活動に参加しようと思いました。災害時は自分のことだけでなく、周りの人に声掛けを行って人と人とのつながりを大切にすることを学ぶことが出来ました。」との声がありました。





## 「唐桑福祉アート展」開催

唐桑地区社会福祉協議会では、例年「唐桑地区福祉まつり」を開催していましたが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とし、代替イベントとして、「唐桑福祉アート展」を開催します。

今回は、アートを通じた地域共生社会の理解と福祉の向上を目的としています。

感染対策を行うなど工夫しながら開催しますので、皆さん是非ご来場ください。

日時：12月5日(日)午前9時30分から午後1時まで  
12月6日(月)、7日(火)

午前9時30分から午後3時まで

会場：気仙沼市唐桑保健福祉センター「燦さん館」  
内容：福祉施設・小中学生の絵画作品、敬老作文の展示、販売コーナー等

※12月6日(月)、7日(火)は、展示のみとなります。  
※新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを中止する場合があります。

問い合わせ先：唐桑地区社会福祉協議会 電話 31-2051

## 本吉地域における地域福祉まつり～津谷地域～

本会では、昨年度より「本吉地域福祉まつり」をコロナ禍でも実施することができるよう、ミニ社協（地域振興会単位）で行う「本吉地域における地域福祉まつり」として、地域の主体性を活かした形で開催しています。

今回、津谷地域振興会との共催により、津谷地域パークゴルフ大会を10月3日(日)にモ～ランドパークゴルフ場を会場に開催し、37名の方が参加しました。

屋外での久しぶりの地域活動ということもあり、秋晴れの青空の下パークゴルフを楽しみました。

参加された方々からは、「久しぶりに地域の方と交流ができて良かった。」「良い運動になった。」などの声が聞かれました。

今後も地域活動を支援していきます。



## 生活福祉資金 (教育支援資金)について

- ◎貸付主体：宮城県社会福祉協議会
- ◎対象世帯：低所得世帯等(所得要件があります)
- ◎貸付内容

①教育支援費(授業料)

	高等学校	専門学校・短期大学	大学
月額上限	35,000円以内	60,000円以内	65,000円以内

②就学支度費(入学金、教科書代、制服代等)

	高等学校	専門学校・短期大学	大学
月額上限	*一律500,000円以内で必要な経費(支払い済みのものは対象外)		

\*申込みから貸付まで最短で1ヶ月程時間を要しますので早目にご相談ください。

\*他にも貸付に際して一定の要件がありますので、詳しくは本会へお問合せください。

気仙沼市社協(電話22-0709)までお問合せください。

みみサボみやぎ・市社協共催

## 「市民向け初めての手話教室」& 「手話で語る会」を開催します

初めての手話教室(全3回コース)

日程：令和4年1月14日・21日・28日 金曜日  
午後1時30分～3時30分

場所：市民福祉センター「やすらぎ」(錦町1-2-1)

対象者：手話初心者(18歳以上)

内容：自己紹介や挨拶など簡単な  
日本手話単語を覚えませ

定員：16名程度



手話で語る会(全2回コース)

日程：令和4年2月4日・18日 金曜日  
午後1時30分～3時30分

場所：市民福祉センター「やすらぎ」(錦町1-2-1)

対象者：手話を使うろう者とその家族、手話ができる  
健聴者、手話教室参加者

内容：手話での会話を楽しみながら交流を図ります  
定員：20名程度

※どちらも事前申込が必要です。

■問合せ・申込先：気仙沼市社協 22-0709



気仙沼市共同募金委員会から市民のみなさんへ

# 歳末たすけあい募金に

12月1日～  
12月31日

ご協力をお願いします

今年の目標額は 4,466,000円 です

気仙沼市共同募金委員会では、上記金額を今年度の歳末たすけあい募金目標額と設定し、運動を展開して参ります。ご寄付はあくまで善意によるものですが、1世帯あたりの目安額を300円とさせていただきます。無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。



## 安心して暮らせる 地域づくりのために

地域の皆さまや関係機関・団体の協力のもと、「子どもの安心安全の支援」や「見守り訪問活動」等の福祉活動を行っている地区社協など、新しい年を迎える時期に、幅広い分野において支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるような配分を計画しています。



子育てサークル・  
子育て支援団体等へ

障がい福祉施設・事業所等による  
地域やボランティアとの交流事業

在宅寝たきり世帯・  
長期入院の  
方へ



地区社協等が実施する、  
子どもから高齢者まで  
多世代交流事業や地域の  
課題解消につながる  
活動など



障がい当事者団体と母子等福祉  
団体等に対して、会員相互の交  
流や情報交換の場づくりに



新入学児童への  
安心・安全支援

みんなでささえあうあったかい地域づくり

お寄せいただいた募金は、受  
配要望書に基づき、気仙沼市  
社協へ配分し活用されます。



## 赤い羽根共同募金

気仙沼市共同募金委員会 (気仙沼市社会  
福祉協議会内)

会長 芳賀勝英 TEL 22-0709

ご意見・ご感想など、お待ちしております。

TEL 0226-22-0709/FAX 0226-22-4467 E-mail: keshakyo@watch.ocn.ne.jp



この広報紙は「赤い羽根」  
共同募金の配分等によっ  
て作成しました。